

社団法人日本中国友好協会

2011年度事業・活動報告

2011年4月～2012年3月

1. はじめに

(1) 2011年3月11日に発生した東日本大震災は、5月開催予定の第13回日中友好交流会議の延期をはじめ、協会、各県協会及び地区協会の事業・活動が延期や中止など少なからず影響をおよぼした。協会は、被災地支援活動として、全国の各県協会や地区協会に呼びかけて義援金の募金活動を行ったところ、多くの皆様のご支援とご協力をいただいた。

なお、地震発生直後から中日友好協会をはじめ中国の関係者よりお見舞いと励ましのメッセージが届けられた。

(2) 公益法人制度改革に伴い、2008年12月1日より2013年11月末までに一般社団法人（移行認可）又は公益社団法人（移行認定）のどちらかを選択することになった。

協会は、2010年11月の第43回通常理事会の討議を経て、検討作業をはじめ、2011年1月の第44回通常理事会及び第22回通常総会において公益社団法人をめざしことを決めた。

はじめに、理事会のもとに3名の担当理事を決め、定款及び諸規則・規程等の作成作業を行い、4月の第45回通常理事会において定款の変更、諸規則・規程等の検討を行い、6月の第46回通常理事会及び第23回通常総会において定款の変更、諸規則・規程等及び新会計基準に基づく収支予算の承認をいただいた。

その後、申請書作成及び関係資料を整え、1月14日に内閣総理大臣（窓口は、内閣府公益認定等委員会事務局）あてに申請した。申請後、認定委員会の担当官と折衝を行い、追加資料と書類の修正を行い、3月27日に内閣府公益認定等委員会より「公益社団法人」への移行認定書を受領した。

4月1日に東京法務局に登記手続きを行い、公益社団法人日本中国友好協会が設立した。また、社団法人日本中国友好協会は、公益社団法人日本中国友好協会の設立に伴い解散となった。

なお、申請までの間、公益認定等委員会事務局窓口相談に5回訪れ、指導・鞭撻を得た。

(3) 2012年は日中国交正常化40周年の節目の年であり、日中友好7団体会長一行は、2月16日～18日、6年ぶり2回目の訪中をした。

日中友好7団体の会長と中国民間6団体の代表は、17日午前、人民大会堂に一堂に会し、日中民間団体指導者会議を開催、「日中民間団体 日中国交正常化40周年記念共同コミュニケ」を発表した。17日午後には、賈慶林中国人民政治協商会議全国委員会主席と会見した。

なお、16日夜、唐家璇名誉顧問は、会長一行と会見し、歓迎宴会を開いた。また、16日午後、劉延東國務委員と会見と外務省と2012日中国民交流友好年実行委員会が開催した「元氣な日本」並びに「日中国民交流友好年」開幕式に参加した。

2. (社)日中友好協会代表団

10月26日～29日、加藤紘一会長を団長とする協会代表団（一行19名）が訪中。

27日午後、劉延東國務委員と会見のほか、滞在中、宋健会長、唐家璇名誉顧問、井頓泉副会長らと懇談及び王暁中華全国青年連合会主席を表敬訪問した。

3. 中日友好協会代表団

6月19日～27日、宋健会長を団長とする中日友好協会代表団（一行10名）を受け入れた。一行は、東京、山形県、鳥取県及び山口県を訪問。20日午後、2012年夏に開催する「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」の調印式に出席、その後、協会主催の歓迎レセプションに出席した。

山形県では、慶応大学先端生命科学研究所の視察等。鳥取県では、故古井喜実先生や故遠山正瑛先生の業績を拝聴し、山口県では、林芳正先生の案内で、中国電力や松下村塾などを視察した。

また、山形県、鶴岡市、酒田市、庄内地区の各協会合同の歓迎レセプション、鳥取県日中友好協会の歓迎レセプション及び山口県日中友好協会の昼食会に出席し、懇談をした。

なお、山形空港出発の際、悪天候に遭遇し、数時間足止めとなった。

4. 展覧会

(1) 「周恩来と日本」写真展

今年度は、4道県6会場で開催した。通算17都道府県37会場で開催となった。

(2) 何香凝芸術名作展

中国側の事情により2012年度に延期となった。

5. 協会の組織運営

(1) 2011年度は、通常総会2回、通常理事会5回、幹事会2回及び常務会5回開催した。

第23回通常総会（6月20日開催）では、2010年度事業・活動報告と収支決算報告及び公益社団法人を目指しての定款の変更等が承認された。第24回通常総会（1月18日開催）では、2012年度事業・活動計画と収支予算が承認された。

(2) 2011年度末現在の加盟団体は、3月に広島県日中友好協会が再建され43都道府県日中友好協会となった。未組織は群馬県、島根県、長崎県の3県。未加盟は宮崎県である。

(3) 全国女性委員会

6月21日、第17回全国女性委員会総会を開催した。活動報告等の承認と新役員を選出した。委員長に岩木みどり（北海道）、副委員長に石黒かほる（秋田県）、村山ひとみ（長野県）、大西史子（兵庫県）の3名が就任した。

(4) 青年委員会等及び女性委員会等のある県協会は次のとおり。

青年委員会等：北海道、宮城県、福島県、茨城県、千葉県、神奈川県、長野県、石川県、京都府、大阪府、和歌山県、岡山県、香川県、高知県、福岡県、宮崎県（16県協会）、

女性委員会等：北海道、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、石川県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、香川県、高知県、熊本県、大分県、宮崎県（26県協会）

6. 青少年交流

(1) 日本中学生・高校生訪中団（団長・村山富市名誉顧問）113名の派遣

3月28日～4月4日まで、北京・上海を訪問した。受入は、中国宋慶齡基金会。同基金会は、東日本大震災で被災した岩手県、宮城県、福島県及び茨城県の中学生と高校生100名を招待したい旨中国大使館を通じて協会に依頼があり、団の編成・派遣をした。派遣にあたり該当の自治体の協力を得た。

(2) 日本青少年訪中代表団の派遣

10月12日～18、第1陣500名が訪中、友好団体分団に協会から5名が参加。

11月23日～29日、第2陣500名が訪中、友好団体分団に協会から2名が参加。

受入は中華全国青年連合会。

(3) 中国高校生訪日団の受入

陣	第4陣
時 期	10月18日～10月26日
人 数	198名
派遣市、省、自治区	北京市、黒竜江省、江西省、雲南省、寧夏回族自治区、
学校交流・ホームステイ実施地域	埼玉県、千葉県(H)、東京都、新潟県(H)、京都府(H)、大阪府、兵庫 県、岡山県(H)、香川県(H)、大分県(H)、
共通事項	①歓迎レセプションと日中関係に関するセミナーの実施 ②学校交流とホームステイの実施（Hはホームステイ実施地域） ③ホームステイ等の実施にあたり、該当の県協会の協力を得た。 ④歓送報告会の実施 ⑤中国の窓口機関は中国教育部

(4) 中国青年代表団の受入。

陣	第1陣（8分団、総勢304名）			
時 期	6月29日～7月6日			
分 団	A団＝ 青年指導者分団	B団＝ 経済分団	F団＝ 対日観光関係者分団	G団＝ 教育関係者分団
人 数	68名	31名	34名	35名
訪問先	東京都、福井県	東京都、愛知県	東京都、京都府、大阪府	東京都、長野県
共通 事項	①歓迎レセプション ②日本文化体験プログラム ③該当する日本青年との交流および関係機関の訪問・視察。 ④歓送報告会の実施 ⑤中国の窓口機関は中華全国青年連合会			

陣	第2陣（9分団、総勢416名）
時 期	8月24日～8月31日
分 団	C団＝経済分団

人 数	38 名
訪問先	東京都、大阪府
共通 事項	①歓迎レセプション ②日本文化体験プログラム ③該当する日本青年との交流および関係機関の訪問・視察。 ④歓送報告会の実施 ⑤中国の窓口機関は中華全国青年連合会

7. 文化、教育、学術などの諸分野の交流とミッションの派遣・受入等

(1) 訪中団等の派遣

10月26日～29日	(社)日中友好協会代表団(団長加藤紘一会長)	19名
11月16日～19日	(社)日中友好協会女性代表団(名誉団長・加藤愛子会長夫人、 団長・岩木みどり委員長)	14名
2月16日～19日	日中友好7団体会長一行	4名
3月28日～4月4日	日本中学生・高校生訪中団(団長・村山富市名誉顧問)	113名
		(計150名)

(2) 訪日団等の受入

6月19日～27日	中日友好協会代表団(団長・宋健会長)	10名
6月29日～7月6日	中国青年代表団第1陣来日	164名
8月24日～8月31日	中国青年代表団第2陣来日	38名
10月18日～26日	中国高校生訪日団第4陣来日	198名
1月15日～20日	上海少年記者「アニメ交流」訪日団	14名
		(計274名)

(3) 中国の関係機関との交流

5月2日	*村岡久平理事長、井頓泉中日友好協会副会長と懇談
5月31日	*中日観光交流会
6月14日	*上海市人民対外友好協会一行来訪
6月19日	*平山美知子名誉顧問が中日友好協会代表団を招き夕食会
6月22日	*中国人強制連行事件・三菱マテリアル訴訟原告関係者来訪
6月30日	*中国青年代表団第1陣歓迎レセプション
7月5日	*中国青年代表団第1陣歓送報告会
8月1日	*中国青年メディア関係者代表団第1陣歓迎レセプション
8月25日	*中国青年代表団第2陣歓迎レセプション
8月30日	*中国青年代表団第2陣歓送報告会
9月4日	*辛亥革命百周年記念レセプション
9月9日	*村岡久平理事長 井頓泉中日友好協会副会長等と懇談
9月12日	*中国高校生訪日団第3陣歓迎レセプション
9月29日	*陳国徳貴州省人民対外友好協会常務副会長一行来訪
10月17日	*貴州省代表団(団長・王富玉党省委員会副書記)一行、加藤会長を表敬訪問

- 10月19日 *中国高校生訪日団第4陣歓迎レセプション
- 10月21日 *中国人民解放軍佐官級訪日団歓迎レセプション
- 10月23日 *中国映画週間・アニメフェスティバル開幕レセプション
- 10月25日 *中国高校生訪日団第4陣歓送報告会
- 11月9日 *中国高校生訪日団第5陣歓迎レセプション
- 11月14日 *徐龍江蘇省人民対外友好協会副会長一行来訪
- 11月15日 *第16回中国教育関係者代表団歓迎レセプション
- 11月21日 *中国人民対外友好協会主催レセプション
- 11月21日 *中国市長協会訪日団歓迎レセプション
- 12月14日 *香港・澳門高校生訪日団歓迎レセプション
- 2月10日 *王加新上海市人民対外友好協会常務理事一行来訪
- 2月27日 *中国社会科学院青年研究者代表団第3陣歓迎レセプション
- 3月22日 *チチハル遺棄化学兵器被害原告と弁護団

(4) 在日中国機関との交流

- 6月7日 *加藤紘一会長 程永華中国大使を訪問懇談
- 7月13日 *張愛平公使参事官離任の挨拶ため来訪
- 7月18日 *日本福建経済文化促進会設立祝賀会
- 7月25日 *孫美嬌参事官着任の挨拶のため来訪
- 8月31日 *韓志強公使 酒井哲夫副会長招宴
- 9月13日 *許金平札幌総領事夫妻着任の挨拶のため来訪
- 9月13日 *王麟中国大使館友好交流部着任の挨拶のため来訪
- 9月29日 *中華人民共和国建国62周年祝賀レセプション
- 10月21日 *中国教育交流懇談会
- 11月11日 *村岡久平理事長 張西龍中国国家観光局(東京)首席代表と懇談
- 11月22日 *「人民日報海外版日本月刊」創刊記念祝賀会
- 12月15日 *符易亨日本華僑華人聯合總會会長、廖雅彦東京華僑總會会長等華僑団体役員と懇談
- 1月13日 *中日教育交流新年交歓会
- 1月19日 *韓志強公使、春節の挨拶のため来訪
- 2月13日 *程永華大使主催日中友好7団体会長一行歓送会

(5) その他

- 4月10日 *ピンポン外交40周年記念行事「日中親善卓球大会・祝賀会」
- 5月12日 *(社)全日本書道連盟懇親会
- 6月2日 *日中植林緑化交流フォーラム2011(於:北京)
- 7月18日 *絆—いつまでもつなぐ—(東日本大震災チャリティー・コンサート)
- 8月18日 *第4回日本中国写真家芸術協会展
「五彩班斕の中国」オープニングパーティー
- 8月27日 *日中友好元軍人の会創立50周年祝賀会
- 9月5日 *許承宰韓国外交通商部北東アジア課長一行来訪

- 9月24日 *第22回佐川日中友好車輛整備技術研修開講式
- 10月7日 *「新文化運動から生まれた文学界の重鎮たち」開幕式
- 11月4日 *第22回佐川日中友好車輛整備技術研修閉講式及び歓送会
- 12月2日 *中国新水墨・東京特別展開幕式
- 12月6日 *辛亥革命百周年記念・中国油絵日本交流展開幕式
- 12月9日 *(NPO)日中医学交流センター設立20周年記念祝賀パーティー
- 12月21日 *ピンポン外交40周年記念行事
- 1月4日 *第56回現代書道二十人展」レセプション
- 1月6日 *北京故宮博物院200選開催記念式典・特別内覧会・レセプション
- 1月21日 *(財)日中友好会館後楽寮春節祝賀会
- 1月23日 *歓楽春節2012
- 2月1日 *万鼎 - 大秦嶺山水画展開幕式
- 3月27日 *回顧中国・辛亥革命100周年記念総合美術展オープニング・セレモニー

8. 留学生派遣事業

(1) 2011年公費留学

中国教育部及び中国大使館教育処の協力のもとに、中国政府奨学金を受給する公費留学生を選考し、19名（長期のみ）を中国各地の大学に派遣した。

2011年4月19日 中国大使館教育処に公費留学申請書提出

8月9日 中国留学研修会を開催

8月19日 中国大使館教育処は「2011年度中国政府奨学金日本人留学生壮行会」を開催

(2) 2012年公費留学

2012年1月5日～2月3日、2012年公費留学の応募受付をした。応募者数は54名。

2012年3月11日 2012年公費留学生選考面接試験を実施した。

20名を内定し、中国に推薦する。

9. 中国語普及事業

(1) 第29回全日本中国語スピーチコンテスト

1月8日、第29回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会を開催。全国大会には、大学生部門9名、高校生・一般部門10名が出場した。優勝者は、大学生部門・田中結衣君（大阪府）、高校生・一般部門・後藤佑嘉君（高校生・東京都）が獲得した。

なお、都道府県大会は、20箇所で開催164名が出場した。また、観客は900名以上となった。該当県協会は大学生部門13名、高校生・一般部門10名をエントリーし、11月27日にテープ審査を行った。

朗読部門には、中学生・高校生部門7名、大学生部門8名、一般部門3名がエントリーした。テープ審査の結果、各部門それぞれ3名が入賞し、当日の発表会で披露した。都道府県大会には、236名が出場した。

(2) 第38回日中友好中国語夏期スクーリングは、全国4会場で開催した。106名が受講した。

(3) 各県協会及び地区協会が実施している中国語講座(教室)は、31 都道府県で開講している。

10. 中国緑化協力事業

(1) 甘肅省敦煌市陽関風沙口の植林

日中緑化交流基金の3年目の助成金620万円を受取、中国側に支払いを完了した。

(2) 日中緑化交流基金の2010年度助成

茨城県日中友好協会(湖北省孝昌県3年)、埼玉県日中友好協会(山西省呂染市3年)、長野県日中友好協会(河北省易県5年)、静岡県日中友好協会(山東省淄博市4年)、三重県日中友好協会(河南省開封県3年)、大阪府日中友好協会(河北省張家口市4年、広東省潮州市2年)が継続し、新たに、宮城県日中友好協会(吉林省九台市1年)が加わり、7府県協会(8箇所)が助成を受け、緑化事業を行っている。また、地区協会では、金沢市(3年)の協会が助成を受け、緑化事業を行っている。

11. 日中友好都市締結の推進と支援

(1) 主な友好都市関係行事

① 6月20日、2012年8月に開催する「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」の調印式を行った。②長野市・石家荘市(河北省)友好都市30周年を迎え、石家荘市代表団を迎え記念行事を開催。③石川県日中友好協会は、江蘇省との友好都市15周年を記念し、県内3地区協会と合同で代表団を派遣。

(2) 日中間の友好都市および友好交流都市の締結数は358組(6増)。その中、県一省は36組(2増)締結されている。((財)自治体国際化協会資料参考)

(3) 2011年度中に中国側が認可した友好都市は次の3組。

奈良県	—	陝西省	2011年9月2日
徳島県	—	湖南省	2011年10月22日
徳島県 鳴門市	—	湖南省 張家界市	2011年10月25日

12. 日中友好7団体等との提携事業

(1) 中国公使歓送迎会を開催

日中友好7団体は、6月30日、離任される孔鉉佑公使歓送迎会を開催した。その後、ベトナム大使に就任した。また、9月14日、着任された韓志強公使の歓迎会を開催した。

(2) 日中友好7団体提携

11月10日 日中友好7団体 山東省三菱勞工連誼会代表団との懇談会

1月24日 日中友好7団体打合せ会

2月13日 程永華大使主催日中友好7団体会長一行歓送会

2月16日 日中友好7団体会長一行訪中(～19日)

3月19日 日中友好7団体打合せ会

(3) アジア青少年音楽交流事業 ～TEENS ROCK ASIA IN JAPAN 2011～

7月24日茨城県国営ひたち海浜公園・水の広場において開催。日中韓3か国のアマチュアバンドが参加した。開会式には、橋本昌茨城県日中友好協会会長(茨城県知事)、孫美嬌中

国大使館使参事官、王希宏中国国際青年交流センター交流合作部長及び李承昌韓国仁川国際交流センター代表理事らが出席。

運営は、茨城県日中友好協会青年委員会が中心となり、高校生ボランティアが募り実施した。昨年の上海万博開催の際、日本から参加したことがきっかけで開催のはこびとなった。

今回は北京で開催。

(4) 後援・協力は公演・展覧会等 41 件

1 3. 組織の充実・発展に関する事業等

(1) ホームページ・インターネットの積極的な活用

毎年 12 月に行なった組織基本調査によると、ホームページを開設している都道府県日中友好協会は 20 県協会（前年比 2 増）メールアドレスを持っている都道府県日中友好協会は 28 県協会（前年比 2 増）であった。

(2) 満蒙開拓平和記念館

(一社)満蒙開拓平和記念館事業準備会は、2013 年春オープンに向けて、事業計画と建設スケジュールを決めた。総事業費は約 1 億 3 千万円、敷地規模 440 坪、建物規模 130 坪、建設地：長野県下伊那郡阿智村駒場、2012 年 7 月建設開始予定。事業準備会は、引き続き募金活動と資料の提供を呼び掛けている。

(3) 出版と会議・会合等の開催

① 機関紙「日本と中国」は、32 回発行。

② 「友好手帳」2012 年版は 10 月に発行。

③ 2012 年平山郁夫カレンダー12月に発売

④ 1 月 18 日、2012 年日中友好新年会（(NPO) 東京都日中友好協会と共催）を開催。

以 上